

市政報告会開催報告書

焼津市議会議員 様

議員氏名 藤岡 雅哉

令和 8 年 7 月 25 日に市政報告会を開催しましたので、概要について報告いたします。

開催日	開催場所	参加された市民	アンケート回収
令和 8 年 7 月 25 日	小川地域交流センター	20 人	20
令和 8 年 7 月 25 日	小川東公会堂	10 人	10

➤ やいづを語る市民の会 振り返り

✓ 市政報告会の告知方法

後援会郵送（355）新聞折込（小川地区・焼津地区 7,850 戸）小川居場所などで配布（約 300）
SNS 配信（公式 LINE・Instagram・Facebook・Threads）

✓ 参加状況

参加者 性別と年代

男性：16 名（53.3%）女性 14 名（46.7%）

30 代 1 名 40 代 1 名 50 代 5 名 60 代 10 名（33.3%）70 代以上 13 名（43.3%）

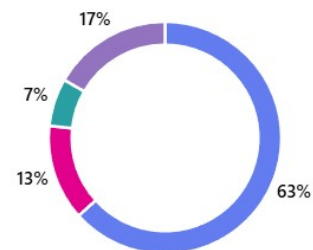
70 代以上の参加者割合が前回の 50%→43.3%と若干ではあるが 60 代以下の割合が増えた。

34 度を超える暑い日であり、これまで徒歩で来場する高齢者の割合が多い小川東公会堂は
来場者が 10 名と課題が残ったが、地域交流センターではほぼ満席の 20 名の参加があり
継続開催の認知が広がったと考える。

✓ アンケート結果

・参加のきっかけ

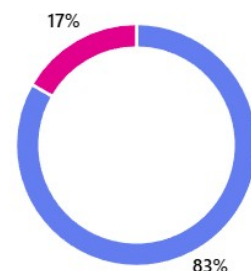
● 後援会からの案内（LINE案内を含む）	19
● 新聞折込	4
● SNSを見て	2
● その他	5



新聞折込から 4 名の参加、また SNS から 2 名の初参加者があり、多様な告知方法が
多少ではあるが効果を上げており、今後も継続したい。

・焼津市・議会・議員活動の報告

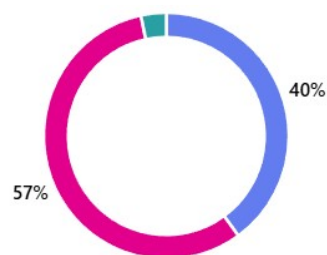
● わかりやすかった	25
● 普通	5
● わかりにくかった	0



おおむねわかりやすいとの評価をいただいた。特に潮風グリーンウオーク完成の説明をもとに、津波レベル 1 と 2 について解説したり、視察先の学んだ義務教育学校など市民の皆さんにとって新鮮な内容を分かりやすく説明することに努めたことが、評価につながったと考える。

・意見交換についての感想

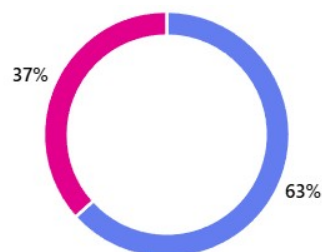
● 話しやすかった	12
● 普通	17
● 話しにくかった	1



話しやすいとの評価をいただいた一方で、「普通」との回答も多く、「話しにくかった」との回答も1件あった。アンケート自由記述では、意見交換の時間を増やしてほしい、市民同士がテーマに沿って意見交換できる機会を設けてほしいといった意見も寄せられており、今後は進行方法や時間配分の改善を検討する必要がある。

✓ 全体の満足度

● 満足	19
● 普通	11
● 不満足	0



全体としては「満足」との回答が多数を占めたが、「普通」と回答された方も一定数存在した。前半の報告内容に対する評価と比較すると、後半の意見交換に関する評価がやや低い傾向がみられ、満足度向上のためには意見交換の進め方や時間配分の工夫が必要であると考えます。

✓ 「やいづを語る市民の会」プログラム（報告会資料は藤岡まさや公式ホームページに掲載）

1. 市と議会報告：潮風グリーンウオーク（防災・津波対策）
2. 活動報告：令和8年度予算審査（病院事業会計含む）・行政視察（学校教育）・一般質問
3. 意見交換：防災・学校教育・病院・その他自由テーマ

➤ 後半の意見交換コーナー及びアンケートで寄せられた声

◆ 報告会・意見交換会に対するご意見

1. スクリーン表示をもう少し大きくして欲しい。（小川地域交流センタープロジェクタ投影）
2. 説明部分は概要を簡潔にまとめ、その分、市民との意見交換の時間を増やす形もよいのではないか。例えば説明を40分程度にして、意見交換により時間を割くことで、さらに多くの市民の声を直接聞く機会になると思う。（現在説明50分・意見交換40分）
3. 参加された方々同士で一言声をまわせたら、発言の機会が市民どうしせつ々く場なので、課題を共有できたと思う。
4. 意見交換会で出た意見（例えば避難訓練について）を総務文教委員会で取り上げるわけにはいかないか。その上で執行部への提言につなげてほしい。市民の声を聞くだけで終わらせず、政策形成や行政改善につなげ、その結果をまた市民へ返していく流れができれば、より開かれた議会活動になると感じる。

◆ 学校教育について

1. 学校の WiFi 強度が場所によって弱くなり、生徒が一度に接続すると止まる。(東益津中学校・令和 7 年度に総合学習で調べた結果) 次には WiFi 強度を平均化するための見直し措置を。
2. 暑い夏に子どもが涼しく遊べる場所として、学校の体育館を開放する事を検討してほしい。
3. 学校や通学カバンの軽量化はできないか。鞆の中身を見るとあんなに頑丈なものでなくともよい。教科書なども学校においてあるようだ。
4. 学校の防災訓練防災はきちんとできているか。過日の東京では、避難器具「救助袋」が使用されなかったことでけが人が発生した。教師を含め救助袋などの訓練をすべきだが、焼津市はどうなっているのか確認を。

◆ 焼津市立総合病院について

1. 焼津市立総合病院 赤字であるならば、藤枝と機能分化して役割を補完し合えばよいのではないか。
2. 焼津市立総合病院 移住を促進する焼津市にとって病院の魅力向上も重要ではないか。島田市立総合医療センターは施設も新しく魅力的である。医師の確保ができないのも魅力が薄いからではないか。島田を手本として研究してほしい。
3. 検査機器など稼働していない時間があるなら、他の病院に営業して時間貸し等で稼働を増やしては。
4. 焼津市立総合病院に血液内科が無いために静岡市立病院まで行月に 1 回で通っており大変。

◆ 防災（主に避難訓練・避難所開設訓練について）

1. 焼津市の防災訓練、年 3 回は素晴らしいがマンネリ化している。毎回名簿を提出して帰るだけ。過去はトリアージの勉強、テント張りや避難所開設訓練もあった。他市では避難所開設訓練（ハグゲームも）や民間のドラッグストアと連携し救援物資配付訓練などやっている。
2. 自主防災会の立場として、備蓄品はいつ分けるべきなのか、要支援者名簿はどのタイミングで誰が参照するのかなど、統一されていないと思う。(自主防災会の方) 市民も自主防災会も本当に災害が発生した時に適切に動けない。

◆ 高齢者福祉

1. 介護認定が調査員によりバラバラだと感じる。
2. 自主運行バスを利用して、高齢者の居場所の活動内容を知らせて「この会場では歌声」「ここは筋肉強化」など事前予約場所へ送るなどの企画はできないか。

◆ その他

1. アクアス焼津の 2 階のプールの床が抜けて、1 階水びだしになったと聞いている。現状と将来の復旧予定、その予算など教えてほしい。
2. 2026 年 3 月 30 日の新聞「PFAS 水道検査義務化」3 か月に 1 回の水質検査が義務付けられたとの事だが、焼津市はちゃんと行っているか、確認してほしい。

◆ 振り返りと次回への検討事項

- ✓ 従来通り 2 会場での開催。(前回のみ 3 会場開催) 猛暑日でもあり参加者数の減少が見込まれたが、30 名の参加となりほぼ過去並みの参加となった。ただ暑さを避けるために、今後は開催の時期を検討したい。
- ✓ 前半の議会・活動報告については、市民にとって普段触れる機会の少ない津波対策、予算審査、総合病院の現状、学校教育の先進事例などを取り上げた。できるだけ分かりやすい説明に努めた結果、「知らなかったことを聞くことができた」「分かりやすかった」といった声が多く寄せられた。
- ✓ 後半の意見交換については、場所によって意見交換の時間が少ないなど、不満の声もあった。また市民どうしの意見交換も有効だとの意見があり、次回以降の課題となった。
- ✓ 今回寄せられた意見の中で特に重要であると感じたのは、市民意見を議員個人の活動に活かすだけでなく、議会の委員会活動や行政への提言につなげてほしいという要望であった。特に防災分野では、避難訓練の実効性向上、避難所開設訓練、要支援者支援の在り方などについて具体的な提案が出され、多くの参加者の関心を集めた。これらの意見については総務文教常任委員会とも共有し、今後の議会活動に活かしていきたい。
- ✓ 今後も市政報告にとどまらず、市民との対話を通じて地域課題を把握し、その内容を議会活動や政策提言につなげることで、市民参加型の議会活動の充実に努めていきたい。

* 上記に書ききれない場合は、適宜別紙を添付してください。

* 参考資料等がある場合は、添付してください。